



研究室
への
誘い

最終回

保健福祉学部 口腔保健学科

6年間にわたり、『大学通信アカンサス』で連載してきた「研究室への誘い」もついに最終回!!
最終回は、2017年開設の口腔保健学科をご紹介します。歯科医師7名、歯科衛生士3名の計10名の専任教員が
アットホームな雰囲気の中、自ら考え行動できる歯科衛生士を養成しています。

Q 学科長の中野先生にお聞きします。
口腔保健学科の学びのポイントを教えてください。

人材養成目標は「一生口からおいしく安全に食べる」ことを支えに、健康長寿に貢献することができる歯科衛生士を育てることです。多職種連携という言葉は聞いたことがあると思いますが、これからの歯科衛生士は、一般の歯科クリニックだけではなく、在宅や高齢者施設、病院などで他の専門職と対等にわたり合っ、自らの専門性を

を發揮できる能力を備えることが求められています。本学科は一般総合科目で人間力を高め、専門教育科目では通常の歯科衛生士業務に関する科目に加えて、摂食嚥下リハビリテーション、歯科リスク管理学、チーム歯科医療、食生活指導論など人材養成目標に沿った科目の充実を図っています。

24台の最新歯科診療ユニットがそろった臨床実習室をはじめ、充実したファントム実習ができる基礎実習室、模擬歯科診察室など最高の教育環境が整っています。

Q 学生さんたちの雰囲気はいかがですか？

本学科の学生は気軽に教員に話しかけたり研究室に来るなど、教員との距離が近いのが特徴の一つです。また学生の中には、山城祭の実行委員の中心メンバーとしてがんばっている学生や、徳島文理大学連という阿波踊りサークルの副部長を務めている学生もいるなど、皆さん勉学以外にも学生生活を有意義に送っています。

施設
紹介

臨床実習室

24台の最新歯科診療ユニットを設置

基礎実習室

48台のファントム実習機を設置

詳しくは下記の
QRコードを
ご確認ください。



口腔保健学科のキャンパスライフは、右のQRコードからご確認ください。

